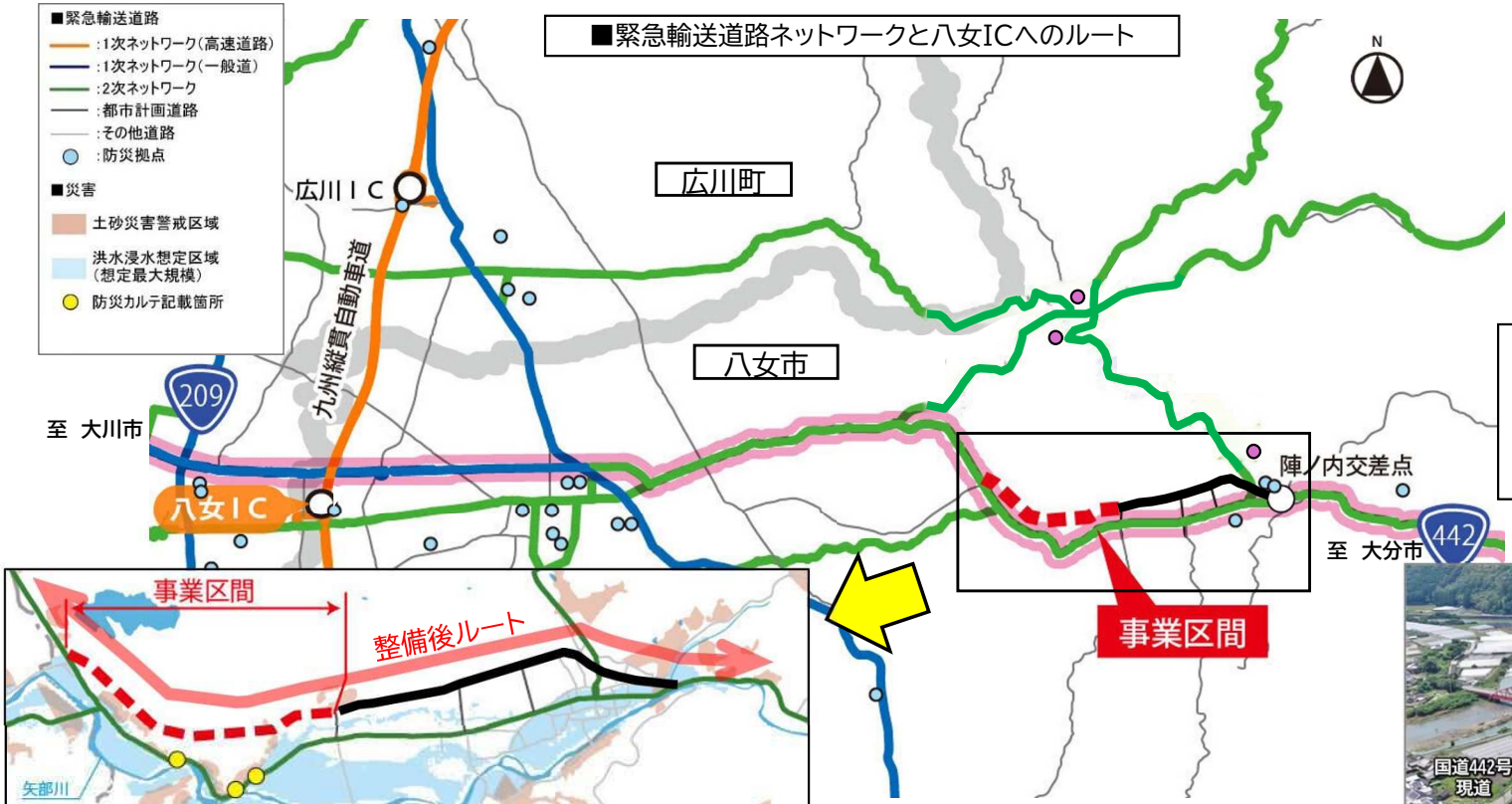
（事例）一般県道442号黒木バイパス整備効果

福岡県 Fukuoka Prefecture

資料１－１

○本路線は、交通の拠点となる九州縦貫自動車道（八女IC）へのアクセス道路としての役割も担い、緊急輸送道路の2次ネットワークにも指定されている。
○しかし、八女市黒木町の一部区間は、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域と重なっているほか、危険な道路法面が存在するなど、被災リスクが高い。

⇒　バイパス整備により、災害に強く、強靭な道路ネットワークを確保する。



■被災想定箇所

出典：福岡県緊急輸送道路ネットワーク図（R6.3）
［土砂災害警戒区域］国土数値情報（R2）
［洪水浸水想定区域］国土交通省九州地方整備局（H30）

≪位置図≫



≪諸元≫

路 線 名：一般国道442号黒木バイパス
事業区間：福岡県八女市黒木町本分
～福岡県八女市黒木町湯辺田
事業延長：2.1km
道路幅員：6.5(11.5)m

≪現在の状況　R8.7時点≫

